

九州マイクロエーブ各位様

前略 皆様その後お変わりなく、研究に又実験にハンダゴテを振り回して居られる事、大変Fine Businessに思います。降って小生70才の大台を9月に迎えることとなり、マイクロパワの領域ではほんの足もとの帯域で、細々と日分ながら実験は欠がしていません。

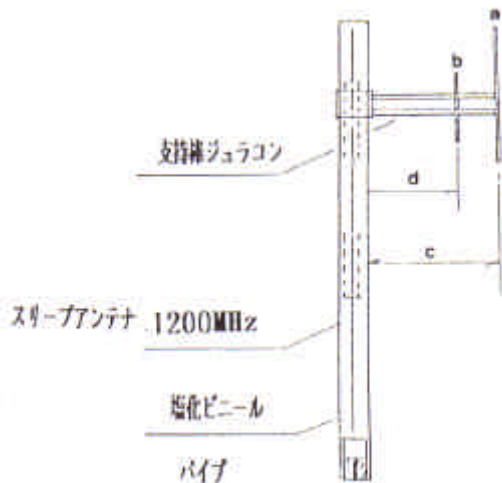
平成12年度の会には出席出来ませんので、責任者の玉利様にお願いして1200MHz帯の元氣いスリーブアンテナの紹介をして頂くことになっています。

JA6GIP局に設置してあるものは、当日参加されるローカルのJ 6IR局に様子を伺って下さい。

玉利様に預けしたものと、本日同封した写真とは少しちがいます。

さて本日貴局に差し上げた資料はご指導を頂きたく思い、非常に迷惑とは十分知りながらお願いします。

## 1 輻射器 aとbの動作



2 電波の発射地点より5Km~10Km位の間、電波の飛んでいく方向に、マイクロパワーのアイデアで色彩 がつけばどれだけ便利か？虹が発生する原理を少し利用して？ 皆様 現実となれば又違った意味で発展が有りそうですね。夢夢

このアンテナによる1200MHzのアクセス状況を地図にしめています。

## 輻射板の取り付け順と調整方法

まず始めにアンテナ本体自体の調整  
SWR1.1 位いまで下げる 先端のエレメント  
を指先で触り SWR が立つ方がよい

- 1 調整された本体に塩ビのパイプを被せる。
- 2 支持棒を取り付け a の輻射板をつける。  
この時点でも SWR は 1.1 とします。  
C は 1/2 に近い。
- 3 始めに a の板を取り外します。  
b の板を挿入し a の板をつける。  
b の板を左右に移動させ SWR を低く止める  
ここでこの ANT のある現象が出ます。  
電界強度をみれば解ります。

私もある程度理解できるので反射器と命名せず、敢えて反射板とした。

よく解りません。

良く解るようにご指導下さい。